

# 天敵保護装置「バンカーシート®」を用いた 新たな IPM 技術

全国農業協同組合連合会 肥料農薬部 農薬課 IPM 担当

高嶋 庸平 (たかしま ようへい)

## はじめに

JA 全農は 29 農薬年度（平成 28 年 12 月）より、バンカーシート® 関連品目の取扱いを開始した。「バンカーシート®」は、後述のように農研機構・中央農業研究センターと石原産業（株）、大協技研工業（株）が共同開発した商品であり、温度や乾燥等の環境変化や散水、化学農薬散布等の影響から天敵を保護することで天敵に好適な環境を提供し、天敵の増殖を助ける機能を有する。スワルスキーカブリダニやミヤコカブリダニの天敵パック製剤と耐水紙の容器、産卵シート、保湿資材 1 反分を 1 セットとし、商品名「スワルバンカー®」「ミヤコバンカー®」として全国の JA を通じて供給している。

バンカーシート® は、「農林水産業・食品産業科学技

術研究推進事業（実用技術開発ステージ：2014～2016 年度）」に採択され、「いつでも天敵」天敵増殖資材による施設園芸の総合的害虫防除の体系確立・実証（課題番号 26070C）」として、中核機関である農研機構・中央農業研究センターと前述の民間企業 2 社と共同で研究開発を進めてきた。また、バンカーシート® を用いた施設栽培作物での害虫防除体系（ハダニ類、アザミウマ類、コナジラミ類等）については群馬県（キュウリ）、徳島県（ナス）、鹿児島県（サヤインゲン）、福岡県（イチゴ）、高知県（花卉・ダリア）の各研究機関が技術開発を進め、5 県の各普及機関と石原バイオサイエンス（株）、（一社）全国農業改良普及支援協会が相互協力する形で防除体系の普及を進めてきた。

平成 28 年 2 月 17 日にスワルスキーカブリダニのパッ



イチゴ本圃



キュウリ本圃



ナス育苗期

### □バンカーシートの特長

特長①隠れ場所・産卵場所提供

特長②温度緩和・湿度保持

特長③耐雨・耐水

特長④農薬シェルター

シート内から天敵が長期間放出する